

## 平成27年(2015年) 1 ～ 3 月期平均の結果

### < 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	249,050 円		
前年同期比	名目 4.5%の減少	実質 7.0%の減少	
二人以上の世帯は,	291,019 円		
前年同期比	名目 4.0%の減少	実質 6.5%の減少	
単身世帯は,	156,830 円		
前年同期比	名目 4.5%の減少	実質 7.0%の減少	

### < 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	209,308 円		
前年同期比	名目 3.8%の減少	実質 6.3%の減少	
二人以上の世帯は,	247,208 円		
前年同期比	名目 3.6%の減少	実質 6.1%の減少	
単身世帯は,	126,028 円		
前年同期比	名目 2.2%の減少	実質 4.8%の減少	

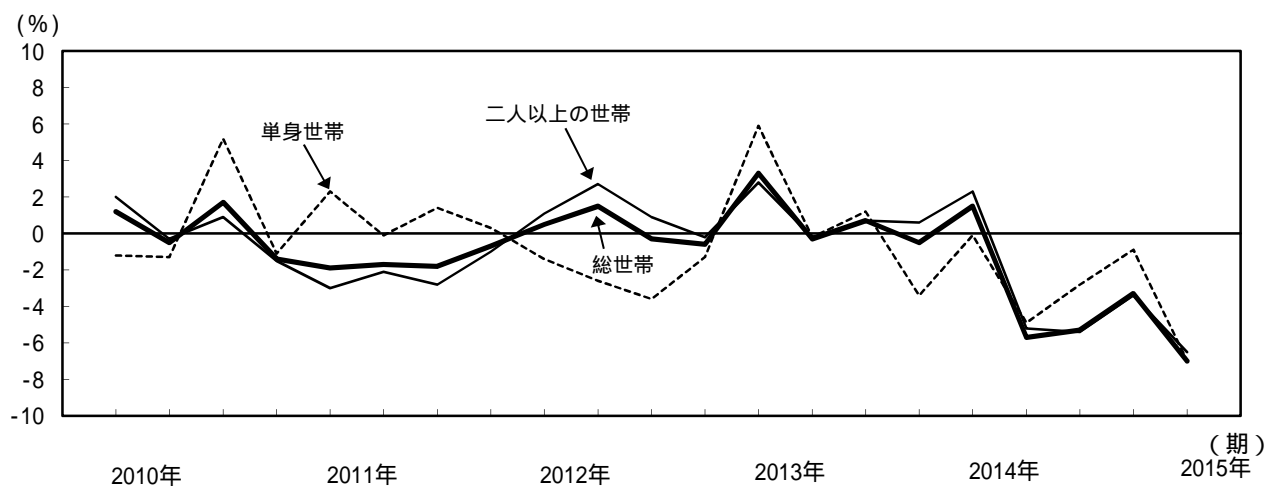
:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

### < 勤労者世帯の1世帯当たりの1か月平均の実収入 >

総世帯は,	413,404 円		
前年同期比	名目 1.8%の増加	実質 0.9%の減少	
二人以上の世帯は,	459,329 円		
前年同期比	名目 1.6%の増加	実質 1.1%の減少	

## 消費支出の推移

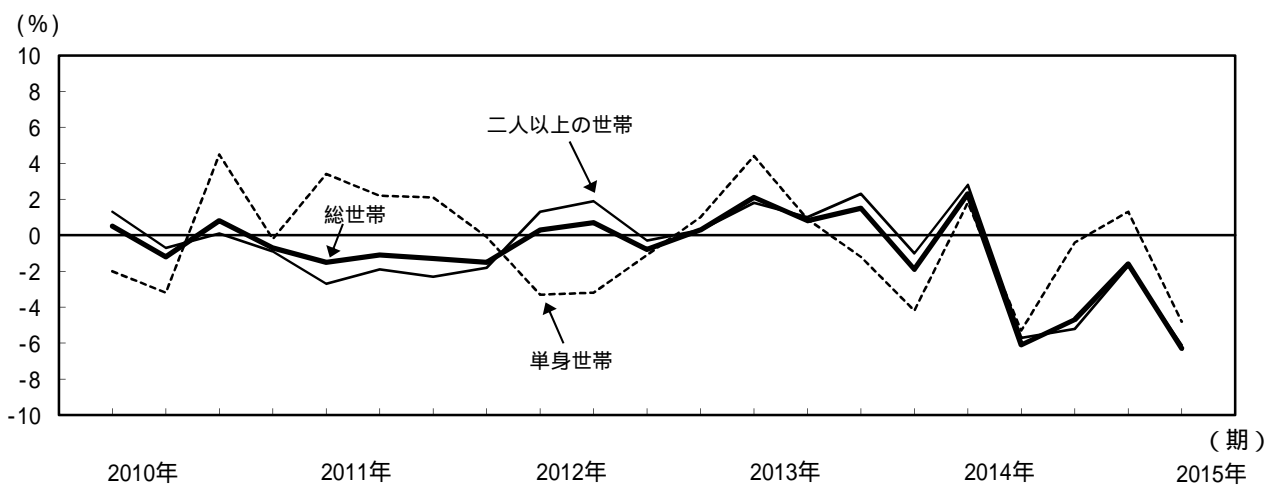
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	2012年				2013年				2014年				2015年
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	
総世帯	0.5	1.5	-0.3	-0.6	3.3	-0.3	0.7	-0.5	1.5	-5.7	-5.3	-3.3	-7.0
二人以上の世帯	1.1	2.7	0.9	-0.2	2.8	-0.2	0.7	0.6	2.3	-5.2	-5.4	-3.4	-6.5
単身世帯	-1.4	-2.6	-3.6	-1.3	5.9	-0.2	1.2	-3.4	-0.1	-4.9	-2.8	-0.9	-7.0

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移

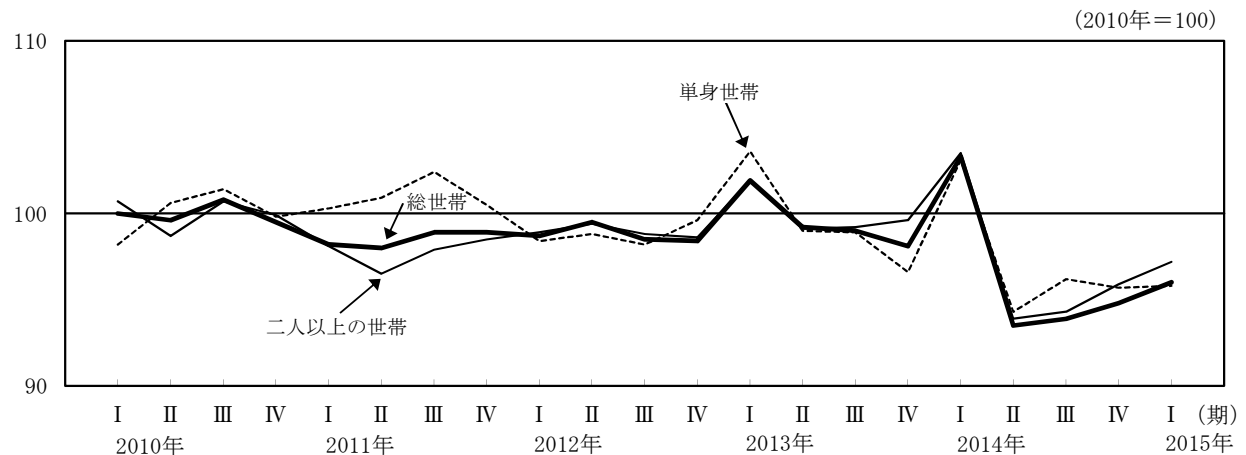


消費支出(除く住居等)	2012年				2013年				2014年				2015年
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	
総世帯	0.3	0.7	-0.8	0.3	2.1	0.8	1.5	-1.9	2.3	-6.1	-4.7	-1.6	-6.3
二人以上の世帯	1.3	1.9	-0.3	0.3	1.8	1.0	2.3	-1.0	2.8	-5.7	-5.2	-1.7	-6.1
単身世帯	-3.3	-3.2	-1.1	1.0	4.4	0.9	-1.2	-4.2	1.8	-5.3	-0.4	1.3	-4.8

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移



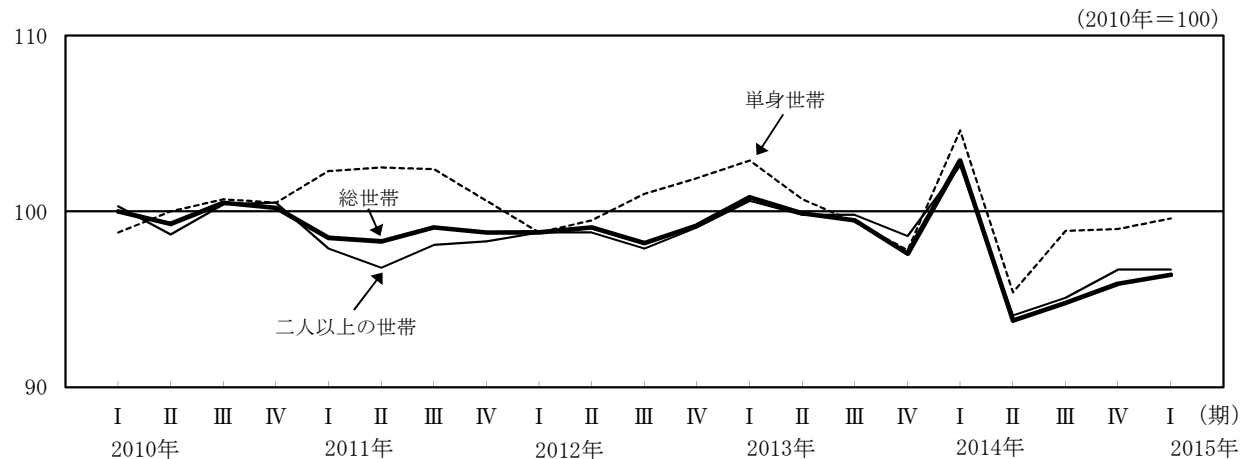
消費支出	2012年				2013年				2014年				2015年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I
総世帯	98.7	99.5	98.5	98.4	101.9	99.2	99.0	98.1	103.3	93.5	93.9	94.8	96.0
対前期変化率(%)	-0.2	0.8	-1.0	-0.1	3.6	-2.6	-0.2	-0.9	5.3	-9.5	0.4	1.0	1.3
二人以上の世帯	98.9	99.4	98.8	98.6	101.9	99.1	99.2	99.6	103.5	93.9	94.3	95.9	97.2
対前期変化率(%)	0.4	0.5	-0.6	-0.2	3.3	-2.7	0.1	0.4	3.9	-9.3	0.4	1.7	1.4
単身世帯	98.4	98.8	98.2	99.6	103.6	99.0	98.9	96.6	103.1	94.3	96.2	95.7	95.8
対前期変化率(%)	-2.1	0.4	-0.6	1.4	4.0	-4.4	-0.1	-2.3	6.7	-8.5	2.0	-0.5	0.1

注1 Iは1～3月期、IIは4～6月期、IIIは7～9月期、IVは10～12月期を表す。

2 季節調整値の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。ただし、二人以上の世帯については、月次季節調整系列の3か月平均としている。

3 季節調整値は、1～3月期結果公表時に、過去に遡って改定している。

図4 消費支出（除く住居等※）（季節調整済実質指数）の推移



消費支出（除く住居等※）	2012年				2013年				2014年				2015年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I
総世帯	98.8	99.1	98.2	99.2	100.8	99.9	99.5	97.6	102.9	93.8	94.8	95.9	96.4
対前期変化率(%)	0.0	0.3	-0.9	1.0	1.6	-0.9	-0.4	-1.9	5.4	-8.8	1.1	1.2	0.5
二人以上の世帯	98.8	98.8	97.9	99.1	100.6	99.8	99.8	98.6	102.6	94.1	95.1	96.7	96.7
対前期変化率(%)	0.5	0.0	-0.9	1.2	1.5	-0.8	0.0	-1.2	4.1	-8.3	1.1	1.7	0.0
単身世帯	98.8	99.5	101.0	101.9	102.9	100.7	99.4	97.8	104.6	95.4	98.9	99.0	99.6
対前期変化率(%)	-1.8	0.7	1.5	0.9	1.0	-2.1	-1.3	-1.6	7.0	-8.8	3.7	0.1	0.6

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

注1 Iは1～3月期、IIは4～6月期、IIIは7～9月期、IVは10～12月期を表す。

2 季節調整値の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。ただし、二人以上の世帯については、月次季節調整系列の3か月平均としている。

3 季節調整値は、1～3月期結果公表時に、過去に遡って改定している。

# 総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

## 1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2015年1～3月期 - 総世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	249,050	-4.5	-7.0	-		4期連続の実質減少
食 料	58,277	1.1	-3.0	-0.66	<減 少> 魚介類, 酒類など	4期連続の実質減少
住 居	16,612	-8.6	-10.0	-0.70	<減 少> 設備修繕・維持, 家賃地代	4期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	26,034	0.7	-2.9	-0.28	<減 少> 電気代, 他の光熱など	6期連続の実質減少
家具・家事用品	7,528	-24.8	-26.3	-1.01	<減 少> 家庭用耐久財, 家事用消耗品など	4期連続の実質減少
被服及び履物	9,860	-9.1	-12.3	-0.51	<減 少> 洋服, シャツ・セーター類など	4期連続の実質減少
保健医療	10,841	-2.5	-4.1	-0.18	<減 少> 保健医療用品・器具, 医薬品	2期ぶりの実質減少
交通・通信	34,643	-8.2	-8.3	-1.20	<減 少> 自動車等関係費, 交通	4期連続の実質減少
教 育	7,302	-0.1	-2.3	-0.06		
教 養 娯 楽	23,478	-8.6	-11.7	-1.16	<減 少> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用耐久財など	4期連続の実質減少
その他の消費支出	54,474	-3.5	(-6.0)	(-1.30)	<減 少> 諸雑費, 交際費など	7期連続の実質減少
消 費 支 出 ( 除 く 住 居 等 )	209,308	-3.8	-6.3	-		4期連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

#### 中 分 類

#### 品 目

#### < 減少項目 >

#### 実質寄与度

自動車等関係費	[-1.07]	.....	自動車購入, 自動車等関連用品
諸雑費	[-0.66]	.....	装身具, ハンドバッグ
家庭用耐久財	[-0.60]	.....	電気冷蔵庫, 電気洗濯機
設備修繕・維持	[-0.58]	.....	設備器具, 外壁・塀等工事費
教養娯楽サービス	[-0.42]	.....	外国パック旅行費, 宿泊料
交際費	[-0.41]	.....	贈与金
教養娯楽用耐久財	[-0.38]	.....	パーソナルコンピュータ
教養娯楽用品	[-0.30]	.....	音楽・映像収録済メディア, ペットフード
交通	[-0.26]	.....	鉄道通学定期代, 有料道路料

#### < 増加項目 >

通信	[0.14]	.....	移動電話通信料, 移動電話
----	--------	-------	---------------

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

## 2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2015年1～3月期 - 総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への寄与 度(%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	413,404	1.8	-0.9	-	7期連続の実質減少
世 帯 主 収 入	336,194	0.7	-1.9	-1.61	8期連続の実質減少
定 期 収 入	329,126	0.5	-2.1	-1.74	8期連続の実質減少
臨 時 収 入・賞 与	7,069	11.1	8.2	0.13	2期連続の実質増加
配 偶 者 の 収 入	39,360	2.0	-0.7	-0.06	7期連続の実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	6,011	7.1	4.3	0.06	6期ぶりの実質増加
非 消 費 支 出	75,198	3.2	-	-	2期連続の増加
可 処 分 所 得	338,206	1.5	-1.2	-	8期連続の実質減少
消 費 支 出	279,310	-3.8	-6.3	-	4期連続の実質減少
平均消費性向(%)	82.6	(前年同期) 87.1	(ポイント差) -4.5		

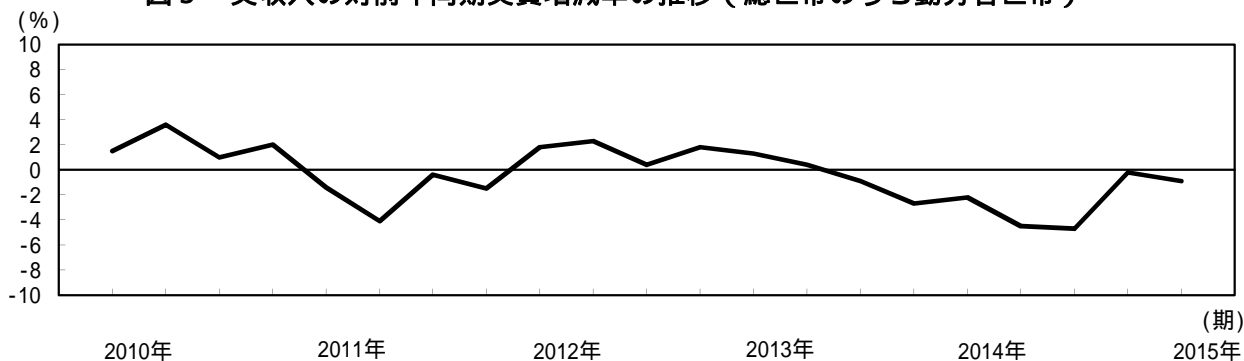
注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



	2012年				2013年				2014年				2015年
実 収 入	1.8	2.3	0.4	1.8	1.3	0.4	-0.9	-2.7	-2.2	-4.5	-4.7	-0.2	-0.9

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

## 二人以上の世帯

### 1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（2015年1～3月期 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	291,019	-4.0	-6.5	-		4期連続の実質減少
食 料	67,697	0.8	-3.3	-0.73	<減 少> 酒類,魚介類など	4期連続の実質減少
住 居	16,278	-9.5	-10.9	-0.65	<減 少> 設備修繕・維持	4期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	30,929	1.4	-2.2	-0.22	<減 少> 他の光熱,電気代など	6期連続の実質減少
家具・家事用品	9,167	-24.3	-25.9	-1.03	<減 少> 家庭用耐久財,家事用消耗品など	4期連続の実質減少
被服及び履物	11,618	-8.5	-11.8	-0.49	<減 少> 洋服,シャツ・セーター類など	4期連続の実質減少
保健医療	12,668	-4.6	-6.2	-0.27	<減 少> 保健医療用品・器具,医薬品など	2期ぶりの実質減少
交通・通信	41,786	-8.1	-8.2	-1.22	<減 少> 自動車等関係費,交通	4期連続の実質減少
教 育	10,625	1.1	-1.1	-0.04	<減 少> 授業料等	2期ぶりの実質減少
教養娯楽	26,541	-6.2	-9.4	-0.87	<減 少> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽サービスなど	4期連続の実質減少
その他の消費支出	63,709	-2.1	(-4.7)	(-1.00)	<減 少> 諸雑費,こづかいなど	7期連続の実質減少
消 費 支 出 ( 除 く 住 居 等 )	247,208	-3.6	-6.1	-		4期連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

#### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

##### 中 分 類

##### 品 目

##### < 減少項目 >

##### 実質寄与度

自動車等関係費	[-1.10]	.....	自動車購入,自動車等関連用品
諸雑費	[-0.76]	.....	装身具,たばこ
設備修繕・維持	[-0.71]	.....	設備器具,外壁・塀等工事費
家庭用耐久財	[-0.62]	.....	電気冷蔵庫,電気洗濯機
教養娯楽用耐久財	[-0.33]	.....	パーソナルコンピュータ
教養娯楽サービス	[-0.27]	.....	外国パック旅行費,宿泊料
教養娯楽用品	[-0.23]	.....	ペットフード,音楽・映像収録済メディア
保健医療用品・器具	[-0.21]	.....	眼鏡,保健用消耗品
交通	[-0.21]	.....	鉄道通学定期代,有料道路料

##### < 増加項目 >

通信	[0.11]	.....	移動電話通信料,移動電話
----	--------	-------	--------------

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

## 2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（2015年1～3月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

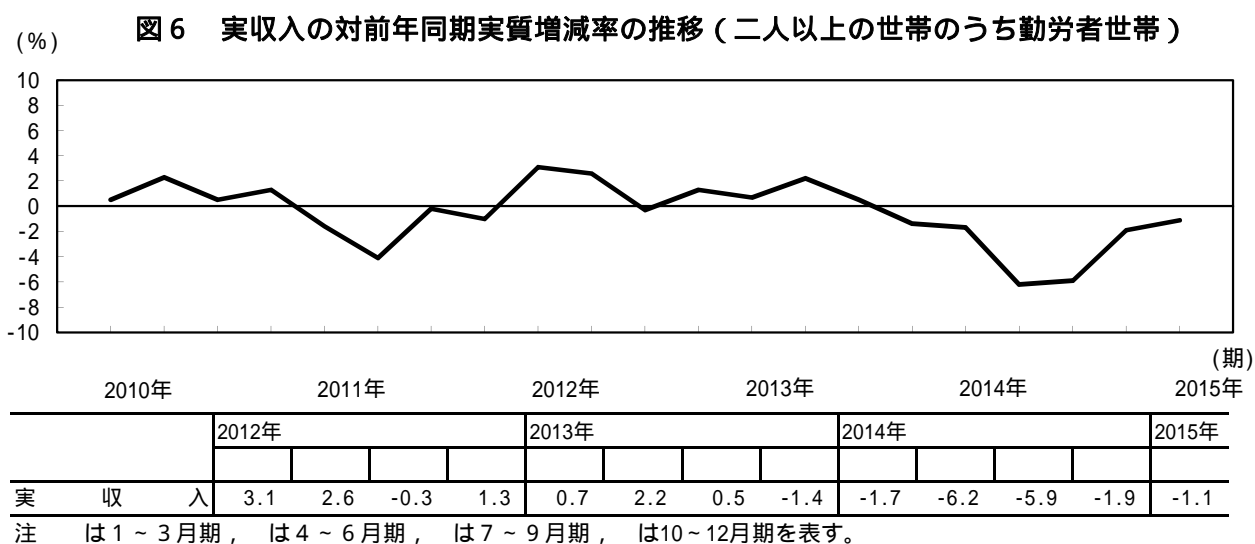
項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	459,329	1.6	-1.1	-	6期連続の実質減少
世 帯 主 収 入	356,900	0.0	-2.6	-2.07	5期連続の実質減少
定 期 収 入	349,266	0.1	-2.5	-1.93	6期連続の実質減少
臨 時 収 入・賞 与	7,634	-5.5	-8.0	-0.14	5期連続の実質減少
配 偶 者 の 収 入	54,330	1.2	-1.5	-0.17	2期ぶりの実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	8,298	6.2	3.4	0.06	6期ぶりの実質増加
非 消 費 支 出	82,515	2.8	-	-	2期連続の増加
可 処 分 所 得	376,814	1.4	-1.3	-	7期連続の実質減少
消 費 支 出	321,345	-4.1	-6.6	-	4期連続の実質減少
平均消費性向(%)	85.3	(前年同期) (ポイント差) 90.1 -4.8			

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。



# ． 単身世帯

## 消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（2015年1～3月期 - 単身世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	156,830	-4.5	-7.0	-		6期連続の実質減少
食 料	37,579	5.0	0.8	0.17	<増 加> 調理食品, 外食など	2期連続の実質増加
住 居	17,345	-6.9	-8.4	-0.95	<減 少> 家賃地代	6期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	15,275	0.6	-3.0	-0.28	<減 少> 電気代, ガス代など	4期連続の実質減少
家具・家事用品	3,929	-24.7	-26.2	-0.84	<減 少> 家庭用耐久財, 家事用消耗品など	4期連続の実質減少
被服及び履物	5,997	-9.5	-12.7	-0.51	<減 少> シャツ・セーター類, 履物類など	3期ぶりの実質減少
保健医療	6,826	10.6	8.8	0.33	<増 加> 保健医療サービス, 医薬品	3期連続の実質増加
交通・通信	18,949	-5.8	-5.9	-0.72	<減 少> 自動車等関係費, 交通	2期ぶりの実質減少
教 育	1	-	-	-		
教 養 娯 楽	16,751	-15.3	-18.2	-2.18	<減 少> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用品など	2期連続の実質減少
その他の消費支出	34,179	-6.8	(-9.3)	(-2.06)	<減 少> 交際費, 仕送り金など	4期連続の実質減少
消 費 支 出 (除く住居等)	126,028	-2.2	-4.8	-		2期ぶりの実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。

3 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

#### 中 分 類

#### 品 目

#### < 減少項目 >

#### 実質寄与度

交際費	[-1.66]	.....	贈与金
教養娯楽サービス	[-0.95]	.....	国内パック旅行費, 宿泊料
家賃地代	[-0.89]	.....	民営家賃, 地代
自動車等関係費	[-0.69]	.....	自動車購入, 自動車保険料（自賠責）
教養娯楽用品	[-0.58]	.....	音楽・映像収録済メディア, 切り花
教養娯楽用耐久財	[-0.56]	.....	パーソナルコンピュータ, カメラ
交通	[-0.48]	.....	鉄道運賃, タクシー代
家庭用耐久財	[-0.47]	.....	電気洗濯機, 電気冷蔵庫

#### < 増加項目 >

保健医療サービス	[0.55]	.....	歯科診療代, 医科診療代
通信	[0.36]	.....	移動電話通信料, 運送料

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。



## < 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2015年1～3月期 - 総世帯）

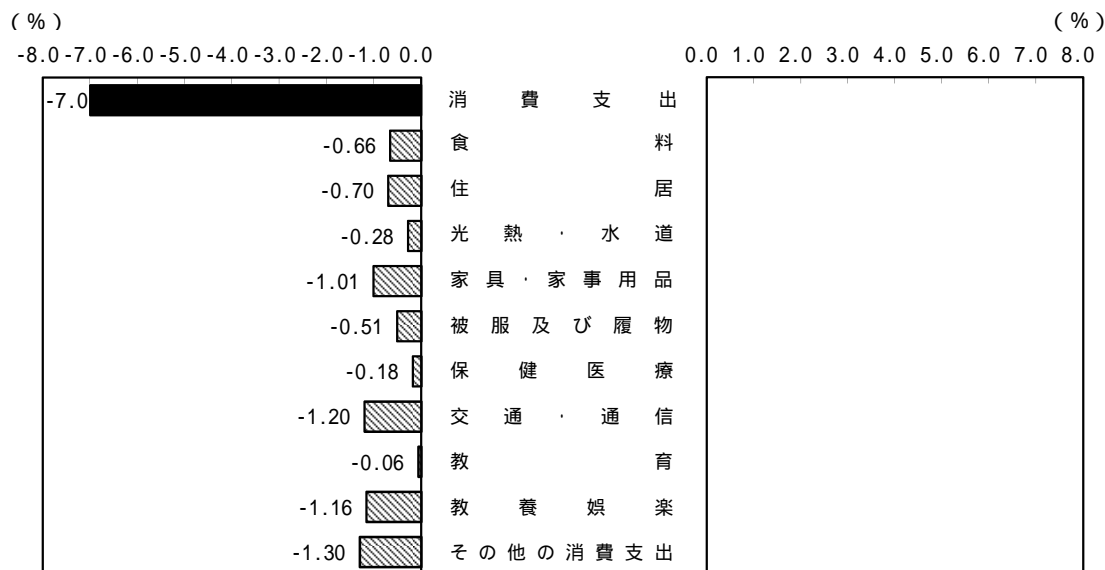


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2015年1～3月期 - 二人以上の世帯）

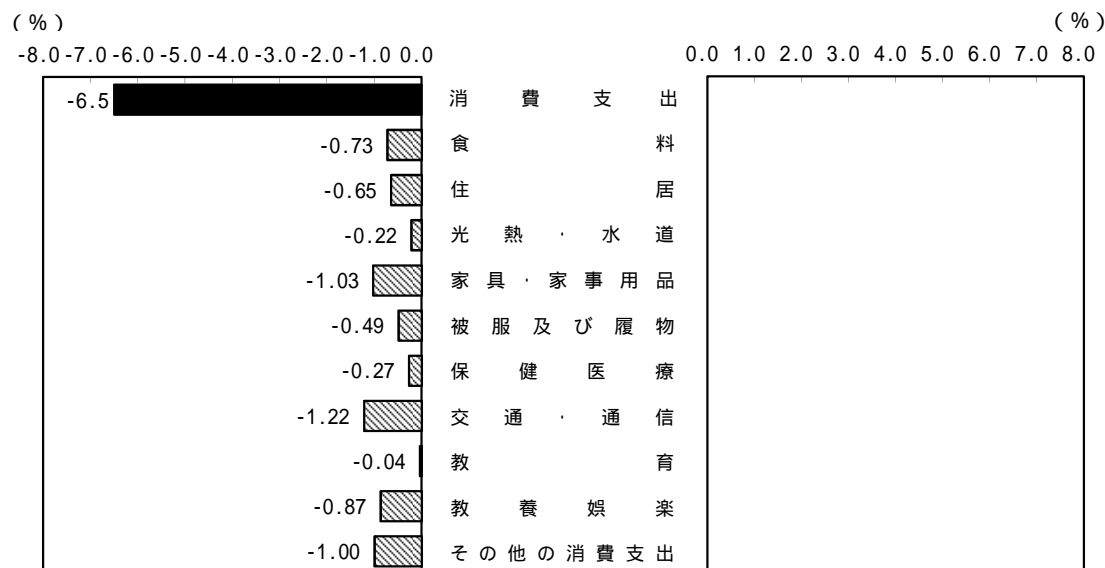
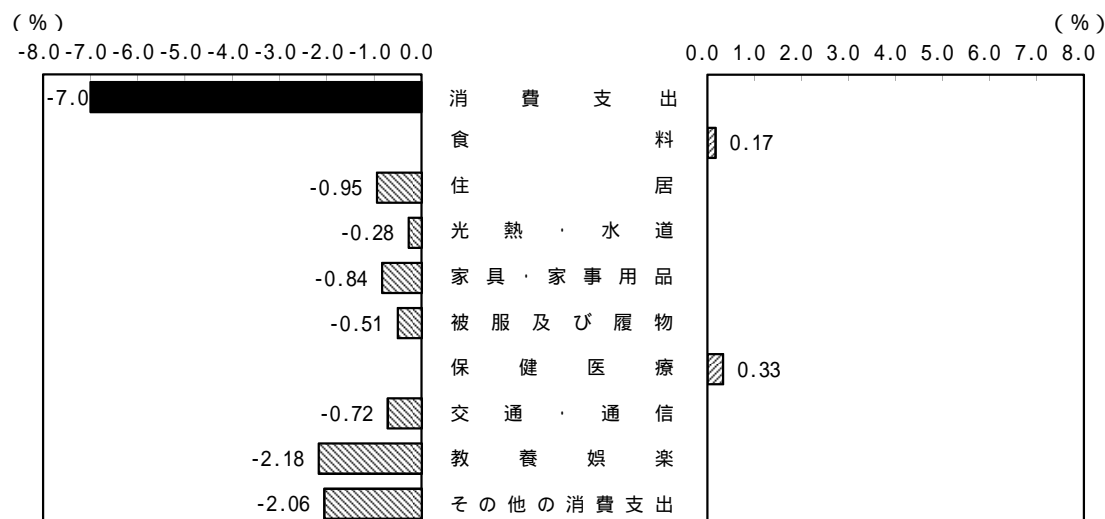


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2015年1～3月期 - 単身世帯）



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。